

優秀賞 「受け継がれた味」

奈良文化高等学校 2年 柴田 彩佳

私のおばあちゃんとお母さんは性格もまったく違うし、料理の味もほとんど違います。入れる材料、調味料が同じでも違う味の料理になります。でも、その中で唯一同じ味になるのがカレーです。なぜカレーだけ同じ味なのかお母さんに聞くと「自分たちでもよくわからんけど、おばあちゃんのカレーは昔から本当に美味しく、ずっと真似しようって心の中で決めててん。」と言って私は少しほっこりしました。

ある日、たまたまおばあちゃんのカレーとお母さんのカレーが一緒になったことがありました。お兄ちゃんとどっちか当てようということになって、二人で二つのカレーを食べ比べてみました。でも、お兄ちゃんも私もわからず「一緒の味やん。」と笑いながら食べていました。

おばあちゃんになぜこんなに美味しくカレーができるのか聞いてみました。「みんなの栄養バランスを考えて作っていたらいつの間にかこんな味にできちゃった」と笑顔で言っていました。とにかく、肉より野菜を多めに入れるそうです。でも、みんな野菜が苦手嫌いにならないように小さく切って普通より長い時間煮込んでいました。にんじんは特にやわらかくなるまで煮込み、まったくゴロゴロせず、やわらかいので食べやすいです。

その話を聞いてから、私もこのカレーの味を受け継ごうと思って、夜ごはんがカレーの時はお母さんと一緒に作っています。一緒に作り始めて私は初めて知ったことがいくつかありました。まず、カレーのルーが何種類も入っていたことです。私が思っていたより種類が多く入っていました。そして、隠し味でりんごをすったのと、しょうがをすったのとインスタントコーヒーの粉を入れていました。コーヒーの粉は結構たくさん入れていました。

私は、一人でカレーを作れるようになったら、おばあちゃんやお母さんみたいに一緒の味で美味しいカレーにしたいです。子供ができたならその美味しいカレーを食べさせてあげたいです。

先日も、夜ごはんがカレーの時もお兄ちゃんと弟で「やっぱりおばあちゃんとお母さんのカレーの味は一緒やな。」と会話をしながら食べました。私もがんばって美味しいカレーの味を受け継ぎたいです。